

令和7年度

石井中学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 創意工夫された楽しくわかる授業づくり
- 家庭学習習慣の定着

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や生徒・教員へのアンケート等、様々な機会を捉え、取組み状況の把握を行う

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的内容を理解しようと努力する生徒が多い ●家庭学習の習慣化、充実を図ることが継続的な課題である。また、テスト後の復習等の習慣化も図れていない	・授業に目的意識をもって臨み、学んだことを習熟している ・毎日、家庭学習の時間を確保し、予習・復習が習慣化している	・授業の復習となる課題や反復を伴うプリント・ワークを課し、それらの確認を定期的に行う ・テスト後の復習の重要性を理解させ、自主勉強ノート等に復習することを習慣化させる			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○話し合い活動の良さを認識している生徒、考え方や解き方、根拠を問う問題に意欲的に取り組もうとする生徒が多い ●自分の考えや意見を表現することに消極的な生徒が多い	・表現が工夫できる ・理由が述べられる ・思考の過程を説明できる	・話し合い活動を積極的に設定する ・考え方や解き方、根拠を問う問題をテストや課題、制作等に取り入れる ・教師の授業力向上を図るため、授業力向上研修(レッスンウィーク)を設ける			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○始業時の着席や授業準備ができている生徒は多い ●自ら疑問や課題をもって授業に臨む生徒は少ない	・始業時の準備を徹底し、授業中のルールを守り、周りとともに学び合える ・自ら疑問や課題をもって、主体的に取り組む	・毎時間、「目標」「振り返り」を提示し、計画的な指導を展開する ・タブレットコンピュータ等(ICT)の効果的な活用を図る			